

編集委員会からのお知らせ——論集第19巻について

今期編集委員会にて協議の結果、論集第19巻のタイトルを『十七世紀英文学における生と死』とすることといたしました。

十七世紀イギリスは、戦争や革命等の社会的要因からも、また疾病をはじめとすると個人的要因からも、そこに生きる人が「死」を痛切に意識させられる時代でした。他方、「死」を考える事は「生」をあらためて考えなおす契機であったとも思われます。そこで本巻では、十七世紀英文学に見られる「生」「死」に関わる表象を扱った論文を募集する事となりました。宗教、哲学からのアプローチ、医学、身体論からのアプローチ等、多くの切り口からの論文が集まる事を期待しております。

執筆要領は以下の通りです。会員各位におかれましては、奮ってご投稿いただきますようお願い申し上げます。なお原則として、なるべく当該タイトルと関わるテーマの論考を投稿していただくよう、お願いいたします。

締切日： 2018年 12月 31日

刊行予定： 2019年 8月 30日（予定）

送付先：各支部編集委員宛（問い合わせは、下記Eメールでお願いいたします。）

東北支部： 梶 理和子 rkazi@yachts.ac.jp

福士 航 fukushwa@tscc.tohoku-gakuin.ac.jp

東京支部： 岩永 弘人 iwan@nodai.ac.jp

宮本 正秀 masheep_00@yahoo.co.jp

関西支部： 山本 真司 sya@aoyamagakuin.jp

西川 健誠 kenseini@yahoo.co.jp 【編集責任】

以下に「編集規定」を添えておきます。18号からの規定に従い、英文投稿も認めます。またこれに対応する形で、原稿はすべて横書きで統一することにいたします。詳しくは下記の編集規定をご覧ください。なお、投稿に際しては、できるだけ所属支部例会などで発表し、その上で加筆修正した原稿を投稿するという手続きを踏まれることを、お勧めいたします。

ちなみに、今回も次の3点について、会員の皆様にご理解をお願いいたします。

1. 執筆者は**5冊**ご購入のこと。
2. 執筆者以外の会員は、**各人1冊**ご購入のこと。所属大学図書館でのご購入も積極的にご検討ください。
3. 金星堂のテキストをできるだけご採用ください。

十七世紀英文学会論集編集規定

1. 寄稿論文は未発表のものであることを原則とする。ただし、既発表の論文でも、編集委員会において本論集に収録することが望ましいと判断されたものは、この限りではない。
2. 原稿はA4 横書きとし、長さは註を含めて日本語の場合 **16,000 字**、英語の場合 **8,000 words** 程度であること。「引用文献」(Works Cited)は字数から除く。書式は **48 字×22 行**に設定すること。なお、英語論文については、英文のネイティブ・チェックを事前に必ず済ませていること。また投稿原稿は **WORD** のファイル形式とし、各支部編集委員宛に電子メール添付で送付するものとする。なお校正は、必要最小限の訂正しか認めないので、完全原稿で投稿のこと。
3. 図版・写真などは、著作権に関する問題がなく、またもし費用が生じる場合は執筆者が自己負担することを前提として、掲載を認める。なお希望者は、事前にその旨、所属支部の編集委員に伝えること。
4. 文献引用法その他書式の細目については、Joseph F. Trimmer. *A Guide to MLA Documentation: With an Appendix on APA Style*(ジョゼフ・F・トリマー『MLA 英語論文作成ガイド補遺・APA 方式』丸橋良雄&日高真帆共訳、英光社、2011年)あるいは、最新版 *MLA Handbook for Writers of Research Papers*に則るものとする。また、下記の点に留意すること。
 - (ア) 和文の場合、原則として引用文には邦訳を付ける。(邦訳のみでもよい。)
 - (イ) 引用は3行以上にわたるときは、本文から分離する。
 - (ウ) 注は末尾にまとめる。注番号は、本文・後注ともアラビア数字とし、括弧で囲む。後注番号の次は1コマあける。
5. 投稿の際、編集委員宛の電子メール本文に、氏名、現在の所属ならびに連絡用の住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス、そして日本語論文の場合は英文タイトルを記載すること。
6. 論集原稿の採択および編集は、編集委員会の責任において行うものとする。